

研究内容3

～生活科・スタートカリキュラム～

【スタートカリキュラムとは】

学びと育ちをつなぐ「スタートカリキュラム」の作成

入学した子供が、**安心** **自信**をもって成長し、小学校の学びとして歩いていくようになる。

幼稚園教育要領参照

生活科を中心に教育課程全体を視野に入れた

「10の姿」をもとに実態を理解し、幼児期に培った学びと育ちを自然に発揮できるようなカリキュラムを！

小学校1年生の「ゼロからのスタート」という考え

【幼児期と児童期における学習の違い】

【**幼児期**の教育課程】
遊びや生活を通して総合的に学ぶ。

内容や進め方の異なり

【**児童期**の教育課程】
各教科等の学習内容を系統的に学ぶ。

入学当初は、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を**織り交ぜながら**、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくること
が求められる。

【生活科における『ぴかぴかタイム』】

生活科における深い学び = **気づきの質の高まり**

気づきを**無自覚**から**自覚**へ

気づきの質を高める『振り返り』の充実

み・・・みつけたこと
が・・・がんばったこと
く・・・くふうしたこと

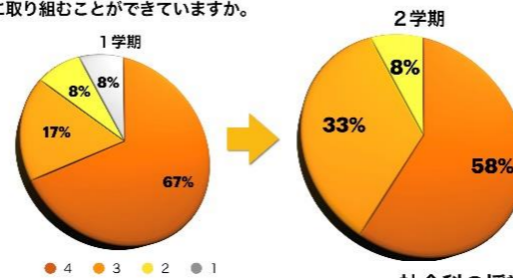
自分や友達の成長に**気づく**。

※ 松ヶ浦小学校スタートカリキュラム別添資料有

研究の成果

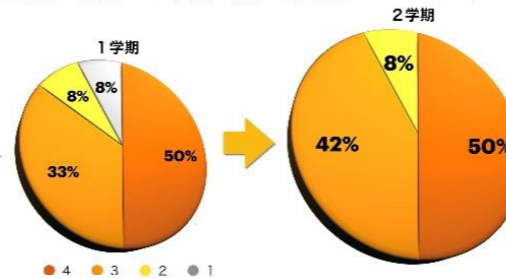
【子供の変容】 (4 できている ～ 1 あまりできていない)

めあてに対して予想を立てたり、調べる視点を考えたりしてから学習に取り組むことができますか。



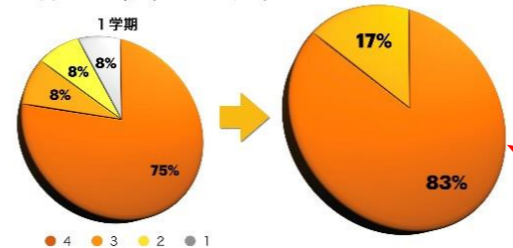
学習のめあてを意識し、自分事として学習活動に取り組むようになった。

社会科の授業では学習の流れを意識していますか。



ガイドを中心に学習の流れを意識して、主体的に学習に取り組むようになった。

ぴかぴかタイムでは、自分の考えを伝えたり、友達の見解を聞いた
り、やる気をもって取り組んでいますか。



「ぴかぴかタイム」等で自分の考えや友達の考えを伝え合い、深い学びにつながった。

【研究のまとめ】

【成果】

- 本校独自の社会科と生活科の学習指導過程を作成し、子供たちが見通しをもって学習を進めることができるようになった。
- 深い学びにつながる「ぴかぴかタイム」を位置付けたことで、自分なりの見方・考え方で社会的事象を捉えることができるようになった。
- ガイドの育成や、時間配分、指導のポイントなどを、研究授業を通して明らかにし、指導に生かすことができた。
- 松ヶ浦小スタートカリキュラムを作成することができた。
- 社会科・生活科における課題設定のための視点を作成し提示することで、学習指導に生かすことができた。
- 社会科・生活科コーナーを設置し、子供の興味や関心を喚起することができた。

【課題】

- 複式学習指導の研究と実践の継続
- 社会科・生活科学習指導の一層の充実
- スタートカリキュラムの効果的な活用
- 幼・保・小・中の連携の在り方



令和元・2年度

南九州市教育委員会研究指定

活気あふれる主体的で
対話的な深い学びのある授業づくり

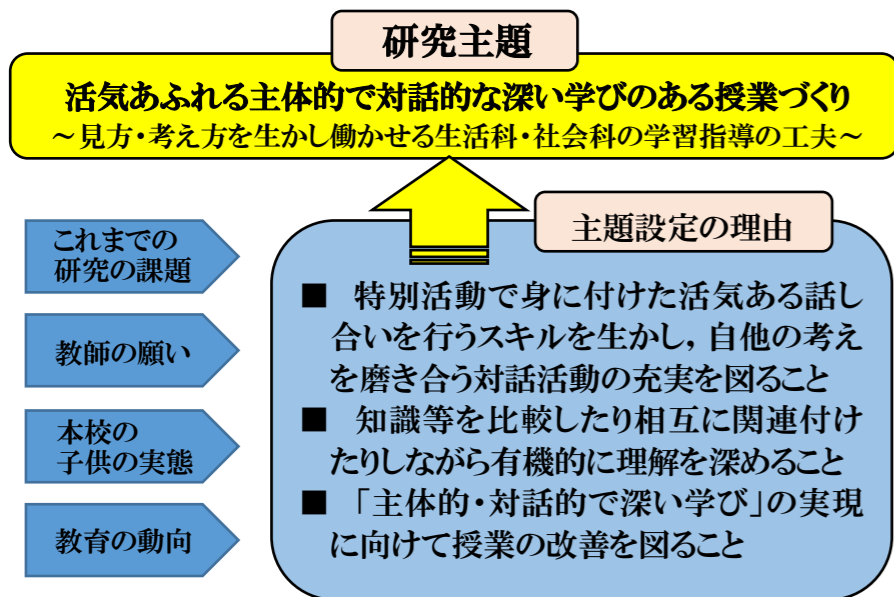
～見方・考え方を生かし働かせる生活科・社会科の学習指導の工夫～



令和2年 12月 4日(金)
南九州市立松ヶ浦小学校

研究構想

【研究主題について】



【目指す子供の姿】

- 1 めあてを自分事として捉え、予想や調べる視点をもつことができる子供
- 2 ガイドを中心に、一人調べでもった考えを伝え合いながら、互いの考えを広げたり深めたりする子供
- 3 自分の予想と調べた結果を比べたり、調べて分かったことを使って新しい問いの解決をしたりすることで学びを深める子供

【研究の重点】

- 1 複式指導における社会科と生活科の学習指導過程の確立と学習内容の精選
- 2 見方・考え方を発揮する「ぴかぴかタイム」の設定と、効果的な資料活用の工夫とガイドの育成
- 3 生活科を中心としたスタートカリキュラムや、気付きの質を高める振り返りの工夫

【研究計画】

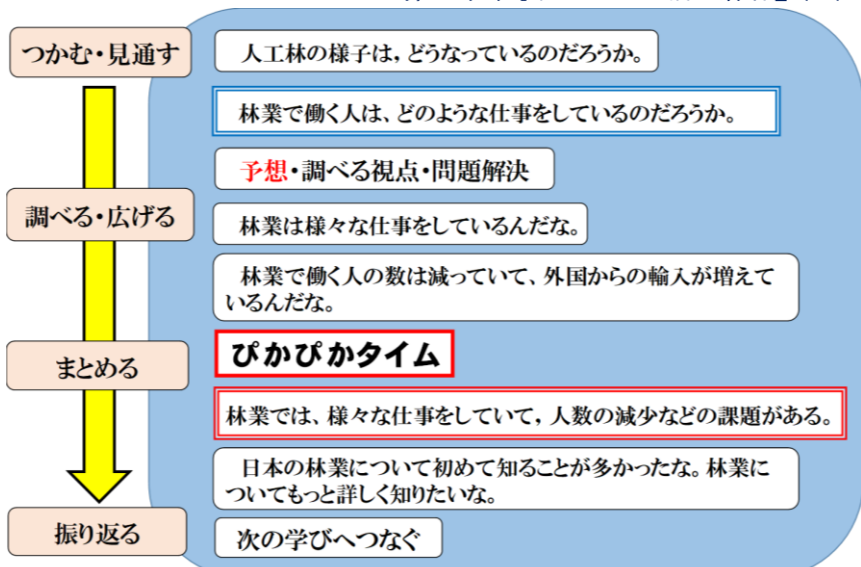
年次	研究内容
一・二年次	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの思考をつなぎ、理解を深める資料活用の工夫 見方・考え方を発揮するぴかぴかタイムの充実と、次につながる振り返りの工夫
一年次	<ul style="list-style-type: none"> 複式指導における社会科と生活科の学習指導過程の確立と学習内容の精選 見方・考え方を発揮する「ぴかぴかタイム」の設定とガイドの育成
<p>生活科のスタートカリキュラムや異学年の指導の重点化の工夫</p> <p>目指す子供の姿の明確化</p>	

研究内容1

～松ヶ浦小スタンダード～

【社会科における学習指導過程】

第5学年『私たちの生活と森林』（4/6）



【社会科学習の進め方】

間接指導を充実させるために学習の進め方を示す。



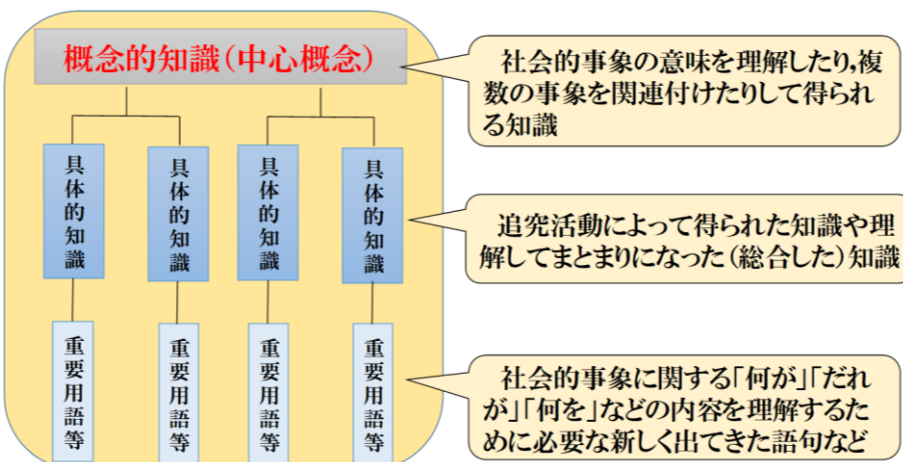
社会科学習の進め方（高学年）

学習過程	主な学習活動	ガイドの学習の進め方
資料・絵・図の読み取り	資料（絵・図）から分かることをノートに書いてください。（時間）	○ ノートに書いたことを発表してください。
めあての確認	【めあてを立てる場合】 ○ めあてを立てます。何かよいめあてはありませんか。 【めあてが決まっている場合】 ○ めあての確認をします。 ○ さんは、（みんなで読んで確認する）めあてをノート（ワークシート）に書いてください。	
予想を立てる	○ めあてに対する予想を立てましょう。（時間は） ○ めあてに対する予想を発表してください。	
調べる	【調べる視点がある場合】 ○ 調べる視点に沿って教科書や資料集で調べましょう。調べる視点は「○○」、「○○」、「○○」です。調べたことはノート（ボード・短冊）に書いてください。	

【知識の構造図】

学習内容を構造的に捉え、内容の精選を図る

知識の構造図とは・・・単元の学習内容を明確化・構造化した図



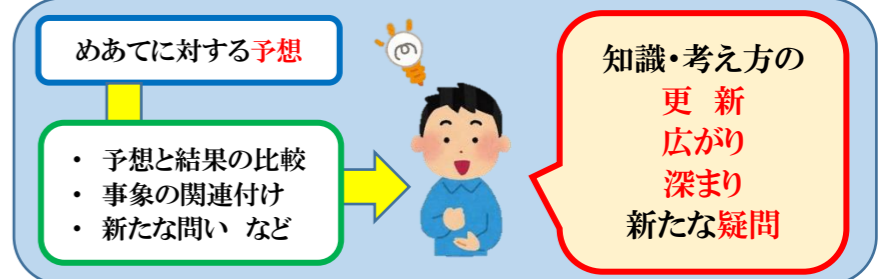
研究内容2

～社会科における学習指導の工夫～

【社会科における『ぴかぴかタイム』】

めあてに対する予想について、一人学習をした結果を相互解決の場でまとめ、**予想と結果を比較し**、初めの自分の考えからの**変容**や友達などのような考えや意見によって**自分の知識（考え方）が更新されたかなど**の、深い学びを行う学習活動

【ぴかぴかタイムのイメージ】



【社会科における資料活用】

社会科における「資料」とは

間接的に観察したり、体験したりできるように教育的に配慮したものが、社会科における「資料」である。

有効活用

社会的事象に対する興味・関心の高まり

思考力・判断力の高まり

具体的な手掛かり

深い学びへ



【学習指導過程に沿った板書構成】

